

令和 6 年度 自己評価報告書

令和 6 年 11 月 20 日
名古屋栄養専門学校

教育理念・目標

総括	改善策
令和 2 年から発生した新型コロナウイルス感染症が感染症法に基づく 5 類感染症に変更され、コロナ以前の体制で全面的にスタートした。 本校の教育理念・目標は学則第 3 条に「教育基本法の本質に則り、学校教育法に従い、現代社会の要請に応じ栄養士としての業務遂行に必要な知識及び技能を教授し、実力ある職業人としての栄養士を養成する」と記載がある通りである。新型コロナウイルス感染拡大状況下であってもなくても、即戦力となりうるプロとしての人材の育成にも力を注ぐことに変わりはない。	本校の理念については学則に定め、パンフレット等で周知をしているが、さらにホームページ、ライン、ユーチューブ等のウェブを通じ広く周知していく必要がある。

以下各項目別の評価は 4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
学校の理念・目的・育成 人材像は定められている か。(専門分野の特性が 明確になっているか)	4	明確に定めている。	学則とパンフレットに定めてい る	特になし	学則、パンフレット
学校における職業教育 の特色は何か	4	調理力、パソコンスキル、 献立作成能力のある栄 養士を育成する教育	グループで行うため能力の低 い学生のサポートに限界があ る	適宜グループ変えを行う。夏 休みに補講を行う	シラバス
社会経済のニーズを踏ま えた学校の将来構想を 抱いているか	4	調理力、献立作成能力 のある栄養士の育成のニ ーズにこたえている	ニーズの把握、ニーズに対応 できているかを評価、新しい 職場の開発に務める	企業とのコミュニケーションを 密にする。学校関係者評価委 員会、教育課程編成委員会 でのディスカッションを深める	シラバス、学校関 係者評価委員会 規程、教育課程編 成委員会規程
学校の理念・目的・育成 人材像・特色・将来構想 などが学生・保護者等に 周知されているか	4	入学時のオリエンテーシ ョン、オープンキャンパス 等あらゆる機会を通して 周知している	より積極的に周知する	さらにわかりやすく積極的に 周知するため、ホームページ の改善に普段からつとめる	パンフレット、ホー ムページ

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	調理力、献立作成能力のある栄養士の育成に向けられている	業界のニーズを常に的確に把握する必要がある。能力の見える化を図ることが必要	家庭料理技能検定の充実を図る。学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を充実させる	シラバス、学校関係者評価委員会規程、教育課程編成委員会規程

学校運営

総括	改善策
本校の教育理念に基づいて適切な学校運営がなされていると考えるが、随時見直しが必要である。学内での意思決定についても、定期的に職員会議を実施し、コミュニケーションを図っている。また、校内で行われる様々な学校行事についても、ホームページに公開し、積極的に情報公開を行っている。 本年度は、新型コロナウイルス感染防止のために始めた、1年生、2年生の10分の授業時間差を継続している。	職員会議についてはマンネリにならないような工夫が必要であり、職員が常に様々な課題、改善策に取り組む雰囲気を作っていく必要がある。 情報公開については、行事ごとに担当者をきめ、責任をもって公開するような流れを作っている。

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
目的に沿った運営方針が策定されているか	4	運営方針は明確に策定されている	毎年の見直しが必要	事業計画を立てるときに説明する	年間予定表
運営方針に沿った授業計画が策定されているか	4	運営方針に沿った授業計画を策定している	運営方針により毎年の見直しが必要	特になし	シラバス
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか。有効に機能しているか	4	定期的な職員会議を開催し意思決定を行っている	規則等での明確化はされていない	組織運営についての文書化を図る	学則
人事・給与に関する規定等は整備されているか	4	整備されている	特になし	特になし	就業規則
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	法人の理事会、評議員会で行われている	特になし	特になし	理事会・評議員会議事録

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
教育活動等に対する情報公開が適切になされているか	4	シラバス・ホームページにより適切になされている	常に更新することが必要	ホームページ担当者を定める	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	情報システムの担当者を配属し、学内 LAN により集中管理して効率化を図っている	システムの改良、更新が必要	システム改善	

教育活動

総括	改善策
本校の教育理念である、調理力、献立作成能力を中心として社会での即戦力となることができる栄養士の養成を実現するための、カリキュラムが編成されている。 本年も課外授業の一環として企業の協力を得、最先端で使用されている給食機器等の見学や実習を行った。 また外部機関との共同企画として、岐阜大学とのコラボ企画「パンシンポジウム」をパンマルシェとの同時開催で実施した。パンランチを提供する企画の中で、本校の学生がメニューを考え、投票によって優秀作品を決定し、当日提供した。外部からはクオリティの高さを評価していただいたが、日ごろのフードサービスの実習のノウハウが活かされたと思われた。 また、食物アレルギーに関する教育の充実を目的として、調理実習をセットにしたアレルギー講座を課外活動として実施し、参加したことによる知識や技能の向上の効果を図る試みを実施した。	カリキュラム編成については社会のニーズに応え、随時見直していく必要がある。外部からの意見を積極的に採り入れるため、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等を開催し、実際に現場で求められている栄養士の能力を今一度明確にし、カリキュラム編成に役立たせていくことが必要と思われる。 学校内では原理原則を身につけることが優先されるが、実社会での動きも十分把握し、常に知識が古くならないように努力を怠らないことが必要である。 一般の人に食事を提供する機会はあまりないが、機会があればチャレンジすることによって、実習での経験の改善点を明らかにしていきたい。

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
教育理念に沿った教育課題の育成・実施方針等が策定されているか	4	策定されている	随時見直しが必要	特になし	シラバス
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	明確にされている	業界のニーズを的確に把握すること	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を実施	シラバス、学校関係者評価委員会規程、教育課程編成委員会規程
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	編成されている	随時見直しが必要	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を実施	シラバス、学校関係者評価委員会規程、教育課程編成委員会規程
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	実施している	随時見直しが必要	教育課程編成委員会を実施	シラバス、教育課程編成委員会規程

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
関連分野の企業・関係施設等業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	3	実施している	業界とのコミュニケーションを密にする。随時見直しが必要	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を実施	シラバス、学校関係者評価委員会規程、教育課程編成委員会規程
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3	体型的に位置づけられている	業界とのコミュニケーションを密にする。随時見直しが必要	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を実施	シラバス、学校関係者評価委員会規程、教育課程編成委員会規程
授業評価の実施・評価体制はあるか	3	学生による授業評価を実施している	授業アンケートに基づき教育方法を検討していく	授業に問題があれば個別に対応していく	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	校外実習での評価により職業教育を充実させている	評価方法を改善していく	学校関係者評価委員会教育課程編成委員会を実施	学校関係者評価委員会規程、教育課程編成委員会規程

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
成績評価・単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	4	明確になっている	基準の見直しが必要	特になし	学則、シラバス
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体型的な位置づけはあるか	4	栄養士以外の資格として、家庭料理技能検定資格取得をめざしており、調理実習等の体型的な位置づけを行っている	取得率を上げる	適宜補講を実施	年間予定表
人材育成目標の到達に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	栄養士法に準拠して確保している	さらに教員の養成が必要	研修への参加	研修に関する規定
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	努力している	業界との連携が必要	業界とのコミュニケーションを密にし、人材を探す努力をする	

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	行っている	対象の教員が偏らないようにする	研修への積極的な参加	研修に関する規程
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	行っている	対象の職員が偏らないようにする	研修への積極的な参加	研修に関する規程

学修成果

総括	改善策
就職率はここ数年 100%近い結果を残している。1 年後期から 2 年の前期にかけて就職講座を実施し、就職に関する基本的な心構えから履歴書の書き方、面接練習など、個別にきめの細かい指導を実施している。 令和 5 年度の家庭料理技能検定試験では、1 級に教員が 1 名、準 1 級に 2 年生が 5 名、2 級には 2 年生 9 名、1 年生 27 名、3 級は 1 年生 8 名が合格し、例年より多くの学生が合格した。 管理栄養士への道は厳しいが、毎年 30 名ほどの卒業生がチャレンジしている。毎年土曜日に管理栄養士講座を実施し、一人でも多く管理栄養士試験合格者を出すための努力をしている。	コロナの感染拡大という状況に見舞われたにもかかわらず、結果として就職に関しては大きな影響は受けなかった。 家庭料理技能検定試験では、対策講座を充実させ、受験者と合格者の増加を目指していく。 栄養士養成施設卒業者にとって、管理栄養士の道は閉ざされていないので、できるだけチャレンジしてほしい資格である。そのため、土曜講座のみでなく、zoom による個別対応を行っていく。意識の高い者だけでなく、管理栄養士を一人でも多く輩出するために同窓会名簿の整備にも常に取り組んでいく必要がある。

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
就職率の向上が図られているか	4	専任の担当者を置き、就職率の向上を図っている	学生のモチベーションの向上	学生とのコミュニケーションを密にする	学則、パンフレット
資格取得率の向上が図られているか	4	栄養士以外の資格として家庭料理技能検定資格を目指しており、取得率の向上を図っている	さらに取得率の向上を目指す	対策講座の実施	年間予定表
退学率の低減が図られているか	4	担任制度により、出席状況を常に把握し退学の低減を図っている	欠席日数の把握	欠席の多い学生にこまめに連絡をとる	出席簿
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	就職活動報告会などで把握している	卒業生との連絡が途切れないようにする	卒業生のネットワークを広げる、同窓会活動の活性化	同窓会名簿

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業生による特別調理実習を実施するなど活用している	卒業生との連絡がとれるよう準備する	卒業生のキャリア形成を幅広く把握する。同窓会活動の活性化	同窓会名簿

学生支援

総括	改善策
就職については、就職担当、担任、教務主任が個別に対応し、学生一人ひとりの希望や個性を大切にしながら、きめの細かい指導を行っている。 欠席が多くなった学生には早めに対応し、サポート体制をとっているが、必要に応じて保護者にも連絡し、生活面からのサポートの改善を心がけている。様々な悩みに対処するため、カウンセリングルームを開設した。 卒業生に対しては、管理栄養士受験講座を開催し、一人でも多く管理栄養士国家試験に合格できるような体制をとっている。必要に応じ zoom を使用したオンライン勉強会を行っている。遠隔地、また仕事で決まった時間が確保できないなどの理由で、土曜日の講座に出席できない卒業生に対し、オンデマンド型の動画配信を行った。昨年度は 45 名が受験し 4 名が合格した。合格率 8.9% は全国平均 11.1% を下回った。	経済的な困難を抱える学生に対しては、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づいた支援及びその拡大措置もあり、全般的に経済的な支援はできつつあると思われる。 発達障害を含め人間関係に問題を抱える学生も見受けられることから、カウンセリングルームの活用を計っていきたい。 管理栄養士の合格率は、かろうじて全国平均を上回っているが、まだまだ満足できる状況にない。仕事をしながらの勉強は制約を受けるが、さらに工夫をして効率の良い勉強法を模索していく必要がある。

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	専任の担当者を置き整備している	マンパワーが不足している	体制の効率化を図る	パンフレット、学生便覧
学生相談に関する体制は整備されているか	3	担任を置き整備している	時に専門家が必要	カウンセリングルームの活用	パンフレット、学生便覧
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	奨学金、専門実践教育訓練給付金制度などで対応している	特になし	特になし	パンフレット、学生便覧
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	年1回健康診断を行っている	保健室はあるが常駐の医療職がいない	近くのクリニックで対応 カウンセリングルームの活用	
学生の生活環境への支援は行われているか	4	学生会館の紹介により行っている	特になし	学生をよく観察する	

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
保護者と適切に連携しているか	4	担任により適宜連携している	保護者会の個別相談の充実	学園祭などの機会に来校を促す	ホームページ
卒業生への支援体制はあるか	3	管理栄養士国家試験受験講座の実施、就職のあっせんにより実施している	卒業生の住所確認が必要	ホームページの活用、同窓会の活性化	ホームページ
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	個別対応を実施している	特になし	特になし	
高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2	一部の高等学校と連携し職業教育を行っている	高校数を増やす	内容を充実させる	

教育環境

総括	改善策
調理実習ができる実習室が IH 仕様とガス仕様の 2 部屋、集団給食の実習ができる実習室が 1 部屋整備されており、どれも最新の設備を導入している。 また、講義室は 3 つあり、本年度は密集状態を避ける為、学生間の距離を十分に保ちながら行った。講義時間でも学生一人ひとりに目が届く状態で実施できている。 フードサービス実習室の真空包装機、スチームコンベクションオーブン、ブラストチラーの老朽化に伴う買い換えを行った。	講義室、実習室はほぼ目的を達する状態で整備されている。特にフードサービス実習室においては、大量調理装置の更新を行うことによって、大量調理では、最新の設備での学習が可能となった。

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	整備されている	最新設備対応が遅れる	できるだけ最新設備を整備する	
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	実習先の協力を得、整備している	実習先及び学校側のお互いのニーズが一致しないことがある	実習先との打合せを実施	
防災に関する体制は整備されているか	4	整備されている	意識の向上が必要	機会を捉え意識の向上を促す	

学生の受入れ募集

総括	改善策
学生募集は年次計画に基づき適切に実施している。18 歳人口が減少しているにもかかわらず、応募者は令和 2 年度 86 名、3 年度 80 名、4 年度 79 名、5 年度 86 名と 4 年続けて定員を超過した。 なぜ増加したかについて、アンケートによる分析を試みたが、明確な原因はみつけれなかった。毎年同様であるがキーワードとしては「オープンキャンパスの充実」、「ホームページの充実（スマホ用）」、「管理栄養士受験対策」が上げられた。	18 歳人口の減少に加え、4 年制大学で管理栄養士国家試験受験資格を得る流れが大きく、専門学校在学生募集は厳しい状況にさらされている。しかし、今年もコロナ不況の影響があつてか、例年より応募者が多い。入学生の多くは、積極的に専門学校を選択している傾向が強い。幸い栄養士から管理栄養士への道は開かれており、専門学校で栄養士としてのスキル、調理の技術、現場経験を積んだ上で管理栄養士になろうとしている学生も多く見受けられる。そのため、卒業後のフォロー体制が重要になっており、継続性のある体制をとっていくことが必要である。 高校の反応としては、進学校では難しい面もあるが、商業高校、工業高校、農業高校などでは、確実に職業に結び付いている本校への入学は意義あるものと思われる。

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3	学校訪問により実施している	情報を充実させることが必要	学生が情報処理演習の中で作成した、広報用の資料を職員が挨拶を兼ねて、出身校へ出向く	入学案内
学生募集活動は、適性に行われているか	4	オープンキャンパス、入学相談会、高校訪問等により実施	学生数の減少	特になし	入学案内
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	オープンキャンパス等により実施	学生により異なる	事前打ち合さを充実させる	入学案内
学納金は妥当なものとなっているか	4	妥当と考えられる	特になし	特になし	

財務

総括	改善策
中西学園としての財務基盤は安定しているが、専門学校としては安定しているとはいえない。 18 歳人口の減少に加え、4 年制大学への流れにより、学生数の増加はなかなか見込めないのが現状である。	社会人の応募者を増加させることが求められる。栄養士として就職に結びつくことはもちろん大切であるが、栄養についての勉学、調理の技術を身につけることは自分自身や家族の健康にとって非常に大切であることから、社会人に対して本校で学ぶ意義を周知していくことが必要である。

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
中長期的に学校の基盤は安定しているといえるか	4	安定している	特になし	特になし	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	妥当である	特になし	特になし	
財務について会計監査が適性に行われているか	4	適性に行われている	特になし	特になし	
財務情報公開の体制整備はできているか	4	整備はできている	特になし	特になし	

法令等の遵守

総括	改善策
栄養士養成施設設置基準、専修学校設置基準等の法令、及び学内の規定を遵守しており、健全な学校運営を行っている。	ふだんの授業では、身近に意識できない面もあるため、本校職員に対して、会議等の機会を利用し、様々な規則を周知しておく必要がある。

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	適正な運営がなされている	特になし	特になし	
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4	常時注意し、保護のための対策が取られている	特になし	特になし	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	行っている	随時見直しが必要	特になし	
自己評価結果を公表しているか	4	ホームページで行っている	随時見直しが必要	特になし	

国際交流

総括	改善策
ここ数年は留学生の入学はない。留学生を受け容れる場合は、担任を中心として丁寧に対応している。	留学生は概して、目的意識が明確であり、新卒の学生の手本になることが多い。留学生の受入れに特に積極的というわけではないが、他の学生にとってはよい刺激となっている。

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
留学生の受入れ・派遣、 在籍管理において適切な 手続き等がとられている か	4	適切に対応している	特になし	特になし	
留学生の学習・生活指導 等について学内に適切な 体制が整備されている か	4	整備されている	特になし	特になし	